

小向 正悟 客員教授

■担当科目

- ・ 地方自治論
- ・ 地域防災論

■経歴

- ・ 中央大学法学部卒業
- ・ 元岩手県沿岸広域振興局長
- ・ 元公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長
- ・ 住田町副町長

昭和 57 年に岩手県庁に入庁し退職するまで 36 年間、県行政に携わる。この間、政策課長、総合防災室長、沿岸広域振興局長などを歴任し、地域振興、総合計画策定、防災危機管理、東日本大震災津波からの復興推進などに尽力。平成 13 年 10 月から 2 年半の間は助役として住田町に出向し市町村行政にも精通。県庁退職後は公益財団法人いきいき岩手支援財団の理事長として、県・市町村・関係団体等と連携しながら少子高齢化に対応した福祉政策、地域づくりを推進している。

【メッセージ】

地方自治の根幹には、民主的な基盤のもと地方の特性を生かそうという考え方があります。私の授業では「現在の地方行政や地域づくりの様々な課題等」について岩手県の現状等を踏まえつつ話を進め、事例演習なども交えながら、こうした考え方に対する理解を深めていきます。この授業で、地域に根ざそうとする学生の皆さんの地方自治や地域づくりの視点が磨かれ、これからの仕事や生活における大きな強みや力になることを期待しています。